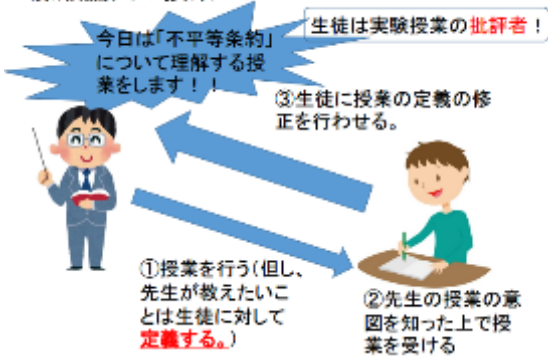


# 第12・13講の風景【カリキュラムの評価】とは何か

## 1. 藤瀬論文の紹介



藤瀬論文の授業



### 7つの重要センテンス

- 従来の感受性研究は、授業理論の実証的な妥当性は吟味できるが、授業理論の倫理的な有効性を吟味できない点で限界があるわけである。(P1)
- 価値多元社会に相応しい国家・社会の形成者を育成しようとするれば、日本人や日本国民の価値観に開かれた公共性を形成されるのではなく、様々な文化的背景をもつ人々の価値観に開かれた公共性を子どもに形成される必要がある。(P4)
- 「論争点の把握」「価値観の分析」「意見の再形成」という3つ段階に即して授業を構成して多元的性性原則と二元的性性原則を学習させることにより、性性原則という社会の現実のよりよいあり方を議論させるわけである。(P4)
- この分野に基づいて授業計画を構築すれば、子どもが開かれた公共性の形成という概念に意識が向いているかどうか確かめることができるため、精英主義社会科学学習が教科目標に対して果たす効果の有り様をよりよく分析できよう。(P8)
- 「全ての国民の人格を大切にすると政治を行う代表者を選挙で定直し選ぶ力カラを身に付ける教科」(P15)
- 子どもに教科目標を焦点に授業を野原させることによって、子どもを実験授業の立場から実験授業の批評者に転換する方法と具体的に提示される。(P16)
- 民主的な国家・社会の形成者をよりよく育成するためには、教師が教科目標に開かれた意見を占有するのではなく、その意見を子どもと共有することにより社会科学の授業を作り実践する必要があるのではないか。(P18)

## 2. カリデザ演習

### 論文からみんなで考える(グループワーク)

- (1) 自分たちでもやってみよう...11:20まで
- 藤瀬論文を参考にして単元構成を考える
  - 0枚目に、班の名前と発表者の名前を記す
  - 1枚目に、**社会科の目標を意識化させる授業展開**
  - 2枚目に、**授業本体を簡潔に紹介**
  - 原則として、先週つくった公民学習教材の授業を使って
  - 3枚目に、**授業の目的合理性を吟味し、社会科の目標を再定義させる授業展開**



- なんのために社会科を勉強するの？
- どんな力をつけるために学ぶの？
- そもそも社会科はなぜ生まれたの？

## 3. 成果発表・投票



### 投票結果

1位	6班	14票
2位	4班	5票
3位	5班	4票



# 投票用紙に書かれていた意見（抜粋）

## 1. 公民とは誰だ

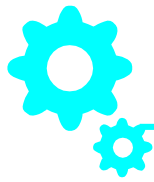
※書き込みがなかったのでTA大坂よりコメント：はじめにわざと”みんなが腑に落ちない「公民」の定義”をさせておいて、「授業を受けてこれに反論できるようになるう」という形での導入というのは、斬新でいいアイデアだと思いました。定義が授業で取り扱う「いじめ」や「雇用問題」とも関連していて、今回の演習課題と自分たちの授業プランを上手く接合させるやり方に感心しました。

## 2. 今を考える

- 自ら社会を切り拓くために地理・歴史・公民という「アイテム」を活用するという考え方によって、授業内容と目標を上手くリンクできていると思った。
- 子どもたちに評価を全て任せるのが面白いと思いました。

## 3. 生きやすい社会実現

- シンプルで一貫性があったのがよかった。
- 導入で「社会」について考えさせるのはいいと思った。
- 導入が面白かった。社会はなぜ社会なのか、というところまで考えさせているのが印象的だった。



# 投票用紙に書かれていた意見（抜粋）

## 4. 権力の批判・監視

- 一本の筋が通っていてわかりやすい。
- 最も流れが簡潔で分かりやすかった。
- 「〇〇力」を一貫して使うことによって、目標の見直し等の構成がすっきりした。

## 5. 行動力

- 人物という切り口が興味深いと思った。
- 選挙やアニメを用いて具体的なものになっており、また理論に筋が通っていて理解しやすかった。
- 将来持つ選挙権の問題と絡めて、子どもたちの身近な問題と関連付けて授業できている。意思表示（文句を含めて）は、権利を行使して初めて資格が生まれるのだと思う。

主張



意思表示

# 投票用紙に書かれていた意見（抜粋）

## 6. 池上or宇治原or渡部陽一

- 人物像という一貫性がいい。他班の質問の仕方だと子どもの関心はひきにくいのではないかな？
- 具体的な例をもとに考えているので、子どもたちも授業に参加しやすいと思った。
- 人物像から入れるので生徒がイメージしやすい。現実的に行いやすい授業だと思った。
- 社会科の目指す力を人物像の具体例から意識・認識させるという視点は、中1にはとても取り組みやすく共有しやすいだろう。

## 7. 自分で考え判断

- 自分が意見を考えた段階をメタ認知させるという過程がよいと思った。
- 自分の思考過程や考えかたを見つめ直すことができ、面白いと思った。

